

# 「滋賀で家族になろう」推進プラン

## 1. 計画の位置付け

「人口減少社会を見据えた豊かな滋賀づくり総合戦略」における「結婚・出産・子育てするなら滋賀」プロジェクトに位置付け

### 基本的方向

若い世代の結婚、出産、子育てや就学・就労の希望を叶えることで人口減少を食い止め、将来的に人口構造を安定させる

## 2. 現状と課題

○家と職場の往復のみで、出会いの場がない  
⇒出会いの場創出のための連携の場が必要

○結婚を経済的負担、生活スタイルの大きな変化と捉え、結婚を先送り  
⇒結婚を前向きに捉えられる支援を企業と協働して行う必要がある

○仕事、結婚、妊娠・出産、子育て等を見通したライフデザインについて学ぶ機会の不足  
⇒早い段階からライフイベントについて考えるきっかけを提供する

### 企業実態調査結果から

- 管理職へのヒアリング調査
  - ・結婚支援に取り組む意向があると回答した企業：49%
  - ・行政に依頼したい役割：出会いの場づくりイベント情報の提供、結婚支援情報の提供
- 従業員向けアンケート
  - ・結婚していない理由：
    - 適当な相手にまだ巡り合わない 29%
    - 家庭を持つのに十分な収入がない 15%
    - 結婚後の生活に不安を感じている 10%

### 県民意識調査結果から

- ・今後結婚したいと思う：86.5%
- ・交際（結婚・再婚）相手を見つけるための活動をしていない：87.9%

### あいはぐ座談会から

・「日頃、結婚・子育て支援の情報はなかなか入ってこない。知ることによって結婚・子育てのハードルを上げ過ぎていたことに気づいた。」

## 3. 理念

希望する人が結婚できるよう、若者を社会全体で応援

## 4. 様々な主体との連携体制

企業・団体・行政等で構成される「あいはぐプロジェクト応援団」ネットワークの拡大・強化

## 5. 今後の対応の方向性

社会で若者を応援

ネットワークづくり

学生・若者への働きかけ

企業との協働

機運の醸成

高校・大学・市町との連携

## 6. 具体的な施策

●プロモーターによる企業への結婚支援の働きかけ

●あいはぐパスポート事業の確立

●意見交換会、座談会、研修会等を通じた出会いの場づくりの推進

●HPにおける婚活イベント情報の一元的な発信

●高校生向けにライフデザイン教育の実施

●県内大学・短期大学へのライフデザイン教育の普及促進

●若者の視点を活かした取組の推進

## 7. 計画期間・目標値

平成30年度～平成31年度（状況に応じて適宜見直す）

あいはぐパスポートへの協賛店舗数：  
300店舗（平成31年度）

出会いの場づくり等に取り組む  
団体・企業数： 32企業・団体

ライフデザイン講座を実施した県内高校・  
大学・短期大学： 延べ12校